

同窓会総会でペンケースを紹介しました

令和6年9月8日（日）

9月8日（日）に名古屋駅にある名鉄グランドホテルで行われた三稜会（同窓会）総会で、本校国際理解コース3年生の4名が、全国高校生フォーラムで提案した「津島もったいないプロジェクト」に基づき、実際に作成したペンケースを参加者の皆様に紹介しました。

同窓会総会は、卒業後30年になる第47回卒業生の皆様が幹事となり開催されたものです。

今回は、幹事の皆様のご厚意により、昨年度フォーラムで発表した4名の生徒と国際探究科主任の大谷先生、全日制教頭の金澤が、参加者の前でペンケースについて説明する機会を



いただきました。

大谷先生による生徒紹介と企画の説明に続き、服部君、土屋さん、鈴木君、木下さんの4名がペンケースに対する思いを伝えました。新しい制服生地の手入れに使っていること、障害を抱えている方にペンケースの制作を依頼することによって、その方たちの収入源となっていること、地元の津島毛織工



業共同組合の協力をいただき、尾州生地を世間にアピールするために活動していること、そしてこの活動がSDGsの発想で今後本校が継続して取り組む活動の最初の一歩であることを説明しました。

参加者の方々のご協力のおかげで、当日に準備したペンケースは完売いたしました。売り上げは、全て新しい商品の材料費や人件費の資金として使わせていただきます。ご協力ありがとうございました。

これからも本校では、「主体的」に考え、チームで「協働的」に検討し、身近な問題から世界に関わる問題まで「深く」学び、課題解決の方策を具体的に提案していきます。本校の活動に対するご理解とご協力を今後もよろしくお願いいたします。



教頭 金澤 学